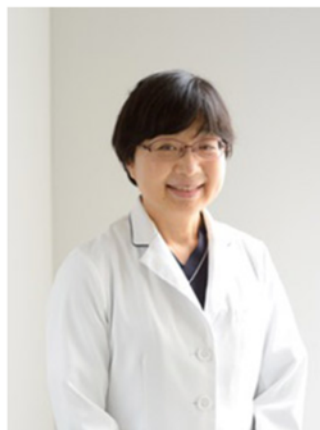


医師不足地域を支える医師



公立森町病院（森町家庭医療クリニック）

医師

棚橋 信子 先生

医学生のあなたへ

私は森町家庭医療クリニックで家庭医をしております。

皆さんがまだ、将来の医師像が描けていないのであれば、私の選択と働き方を一つの参考にしていただければと思います。

私は医学部最終学年で、日本ではまだ馴染みのない総合診療医、その中でも地域に根ざした家庭医になるという選択をし、3年間の静岡家庭医養成プログラムを経て現在に至っています。

日々の業務は外来診療と訪問診療が主体です。家庭医ですので、外来診療では年齢性別問わず、プライマリ・ケア領域の様々な病を抱えた患者さんを診ます。複合的な問題を抱えた高齢者、心の問題を抱えた方、不登校、予防接種、妊婦健診、子宮頸部細胞診を含めた健康診断・・etc. 訪問診療では多職種で在宅療養を支え、自宅でのお看取りにも携わります。地元高校の校医として同僚医師と協力して出前講座やマラソン大会への同行も行います。

当クリニックは家庭医の養成施設でもあるので、後期研修医への助言や指導、初期研修医や医学生の地域研修教育に携わっています。学びに来られた医師からの刺激も受けて、新鮮な気持ちで日々一緒に勉強しています。

役割は多岐に及びますが、だからこそやりがいを感じる日々です。また、スタッフや同僚医師に恵まれ相談もしやすく、労働環境として孤立や過剰な負担は感じていません。

このように、非常に恵まれた環境に日々感謝して、幸せな医師人生を送っています。そして、地域の皆さんが私を受け入れてくれていると感じられることが何よりの喜びとなっています。

医師不足の地域での経験を通じて、その地域で暮らす方々の、“人としての丸ごと”を感じる事が、医師としてのベースになるかもしれません。研修中にもっと極めたいと思う分野が出てきた時、専門医取得について周囲に相談すれば道は開けると思います。

医学部で人間の勉強をしている皆さんです。将来、人の病という困りごとを少しでも軽くする手伝いをするために学んでいるということを忘れず、迷いつつも楽しみながら人生の選択をなさってください。